

令和5年度 新潟よつば学園学校評価<まとめ>

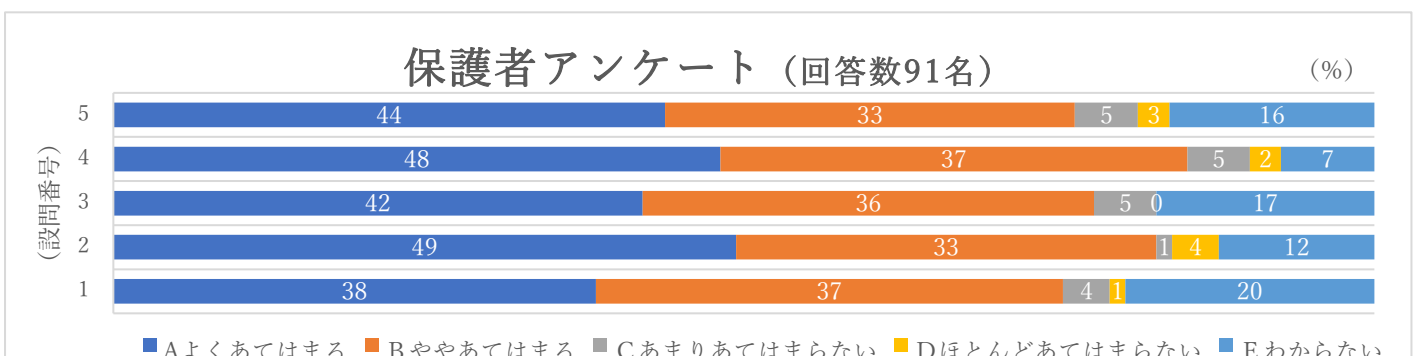
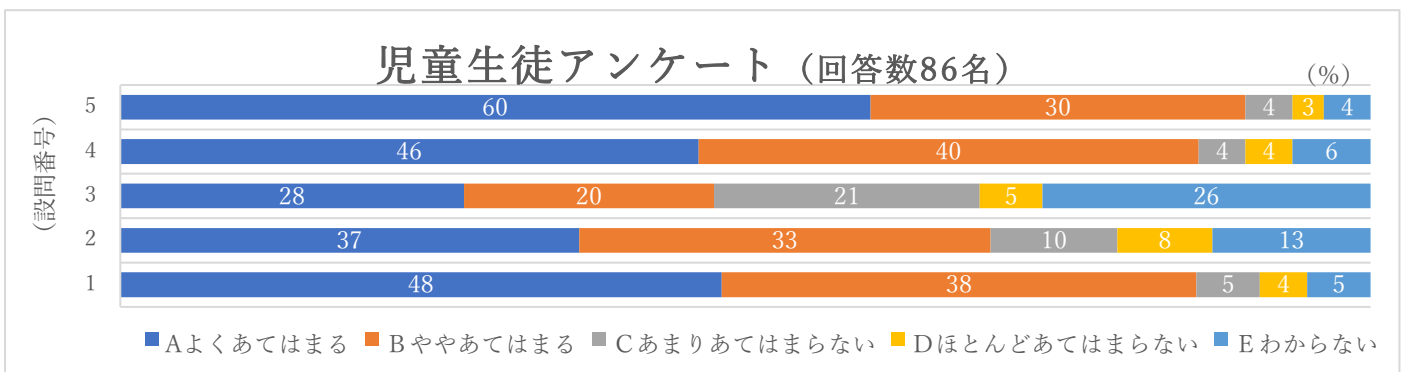
令和5年度の学校評価がまとまりましたのでご覧ください。保護者並びにご家族の皆様には、アンケート回答にご協力いただきありがとうございました。

1 学校評価の結果

「Aよくあてはまる Bややあてはまる Cあまりあてはまらない Dほとんどあてはまらない Eわからない」の回答の中から、AとBを肯定的な評価として集計しました。

設問番号	質問内容	結果 (児童生徒)	結果 (保護者)
1	教育部門間交流の取組	86%	75%
2	相手を理解し積極的に関わろうとする態度の育成	70%	82%
3	複数障害種学校としての価値の発信	48%	76%
4	個性及び障害特性に応じた教育	86%	85%
5	長期的な視点からの系統立った指導	90%	77%

※設問3の評価が低く、児童生徒では50%を下回っています。設問自体が理解しにくい、答えにくいということが反省に挙がっています。分かりやすく、答えやすい質問内容を来年度に向けて見直していきます。



2 アンケート記述より

学校の日々の取組について、以下のような意見をいただきました。

○児童生徒アンケートの記述より

- ・3部門での行事があり、たくさんの仲間と活動できて楽しい。
- ・みんなとつながっている。
- ・先生方が生徒の話をきいてくれる。

○保護者アンケートの記述より

- ・異なる障害、年代の人たちと関わるところが良い。
- ・お互いを知り、コミュニケーションの幅が広がっている。
- ・生徒個々のことを理解し、一人一人に合わせた指導をしている。
- ・社会参加、自立に向けた学習や体験がある。

3 学校評議委員会より（第3者評価）

- ・先生方の頑張りや熱意が伝わってくる。学校評価が高いのは当然の結果を言える。
- ・高等部生徒と企業経営者との交流の機会があり、直接触れ合ったことで生徒を知ることができた。触れ合いはまだ始まったばかりだが、このような機会を重ねていくことが重要。
- ・学校の活動や取組、また、新潟よつば学園の子供たちをPRする策を検討するとよい。
- ・視覚障害、聴覚障害に関しては、新潟よつば学園が専門的な役割をもっている。専門生を高め、学校の魅力を伝えることが重要。入学者の確保へもつながるのではないかな。

4 まとめ

開校2年目を迎え、部門や学部を越えて共に学ぶという新潟よつば学園ならではの取組が、行事だけでなく教科学習においても見られるようになってきました。その結果として、児童生徒や保護者の皆様から高評価をいただきました。また、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、地域とつながる学習も始まっています。（社会科見学、職場体験、eスポーツでの交流、地域手話講習会、など）

来年度は、部門や学部などを超え、いろいろな仲間と関わり合っただけで経験を広げる学習を進めて行くと共に、それぞれの障害に応じた支援も高めていきます。